令和3年度　第1回丹波篠山市図書館協議会次第

日時　令和3年5月27日（木）13：30～15：30
場所　丹波篠山市立中央図書館　視聴覚ホール

1　開　　会

2　委嘱状の交付

3　あいさつ

4　会長、副会長の選任

5　報告事項

（1）令和2年度図書館事業報告について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P1

（2）令和2年度図書館利用状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P7

6　協議事項

（1）令和3年度図書館主要事業の概要について　・・・・・・・・・・・・・　P8

（2）図書館ビジョンの取り組みについて　・・・・・・・・・・・・・・・　P11

（3）第2次丹波篠山市立図書館ビジョンの策定について・・・・・・・・・・　P18

7　その他

8　閉　会

丹波篠山市図書館協議会委員名簿

任期：令和３年４月１日～令和５年３月３１日

	所　　属　　等	氏　　名	備　　考
1	丹波篠山市小学校教育会図書館部会部長（篠山小学校校長）	杉　本　克　治	
2	丹波篠山市中学校教育会図書館部会部長（西紀中学校教頭）	木　村　　研	
3	丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員	向　井　祥　隆	
4	ささやま図書館友の会代表	中　西　文　枝	
5	元丹波篠山市民センター図書コーナー「本の郷」ブックサポーターコーディネーター代表	溝　畑　あけみ	
6	元篠山市立図書館アドバイザー	西　野　裕　子	
7	公募委員	長　澤　一　正	

令和２年度図書館事業報告

「篠山市立図書館ビジョン」による図書館運営
基本理念　　『人と本・知識・情報を結びつける知的空間の創造』

１　令和２年度図書館管理運営費

決算見込額　　（単位：円）

事業名	令和２年度	令和元年度	差額	主項目
図書館業務費	30,281,958	26,984,627	3,297,331	資料購入費他
図書館事業費	109,950	230,762	△120,812	講演会費用他
施設管理費	15,962,919	35,114,448	△19,151,529	施設管理委託料他
会計年度任用職員関係	25,313,421	20,784,665	4,528,756	報酬、費用弁償他
決算額	71,668,248	83,114,502	△11,446,254	

図書館業務費：図書消毒器、地域新聞電子化事業等による増。
図書館事業費：職員向け研修の実施による減。
施設管理費：令和元年度は空調設備改修にかかる工事請負費等による増となったため。
非常勤嘱託員関係：令和２年度から雇用形態変更による増。

２　事業報告

（１）利用者の知的欲求を満たす図書館

①利用者サービスの充実

〇映画上映会の実施

視聴覚ホールにて大人向けと子ども向け映画上映会を毎月各２回開催。

対象	上映作品	上映回数	視聴人数	昨年度比
大人向け	8 作品	16 回	67 人	△46 人
子ども向け	9 作品	17 回	75 人	△41 人

〇出張図書館

子育て支援の一環として子育てふれあいセンターと連携し、同センター登録グループの活動日にあわせて実施。また配本所のＰＲと利用啓発として主に東部地区に重点を置き、子育てグループの会場である城東公民館で実施した。

	日程	開催場所	参加人数			新規登録	貸出冊数
			大人	子ども	計		
1	9 月 4 日	城東公民館	6	8	14	0	35
2	9 月 15 日	城東公民館	3	3	6	0	10
3	9 月 24 日	今田支所	7	8	15	1	24

4	11 月 12 日	子育てママフィールド プティプリ	5	8	13	2	21
	合　計		21	27	48	3	90

○読書手帳の配布

読書のきっかけづくりと読書活動の推進、継続した図書館利用を促進するため、平成２９年７月から配布開始。初年度で市内小中学校全児童生徒へ約３，６００部を配布。令和２年度では小学校新入学生３１９人に配布し、カウンターでは３４６部を配布。カウンターでの累計配布数は３年間で合計２，１７６部となった。

○配本所の周知と利用促進

主に東部地区配本所に重点を置き、出張図書館を実施するなど周知活動に取り組んだ。今後とも継続した周知活動に取り組む。

	城東	多紀	ハートピア	西紀	西紀分室	今田	合計
貸出冊数	18	6	51	14	1	272	362
返却冊数	90	95	113	34	20	419	771
合　　計	108	101	164	48	21	691	1,133
(昨年度合計)	(15)	(8)	(130)	(15)	(34)	(752)	(954)
配達回数	5	6	51	14	20	95	191

＊ﾊｰﾄﾋﾟｱｾﾝﾀｰと西紀分室の定期入れ替え 50 冊×年 4 回は除く

○市民センター図書コーナーの運営

市民ボランティア「本の郷」ブックサポーターによる運営を継続。登録者３６人(R3.3 月末)による当番制で延べ９６２人が従事。６月に研修会を開催、毎月１回ブックサポーターコーディネーターとの定例会を開催。

ブックサポーター登録者の減少から令和３年度以降の運営体制について協議検討を行った。(令和３年度からブックサポーター制度を廃止し職員常駐)

②情報提供サービスの充実

○就業支援コーナーの設置

「丹波篠山に住もう帰ろう運動支援コーナー」の充実。就業起業、空き家対策等の関連図書を選書収集し、市発行の各種冊子やパンフレット類を配架して情報発信を行った。

外国人向け資料のうち生活に関連する図書を集約し、同コーナーの周知ＰＲを行った。

○生涯学習機関等との連携

機関	日程	連携内容
市民プラザ	10 月 1 日～ 10 月 30 日	企画展「市民活動展」を開催。市内 8 団体の活動内容を写真やパネル等で紹介。

周辺公共施設調整会議	毎月１回	中央公民館、健康課、味間認定こども園、子育てふれあいセンター及び社会福祉協議会と定期的な連絡調整会を開催。行事等の情報共有と連携を行なう。

③電子書籍サービス

○地域資料の電子書籍化とパソコン上での閲覧

カウンター横に設置している専用パソコンで閲覧提供を行なう。主に郷土資料関係の書籍の閲覧に活用。

④インターネット、ＩＣＴを活用したサービスの展開

○視聴覚ライブラリーとの連携

「毎月１０日は丹波篠山だけ図書館の日」にＰＲもかねて最新の「まるいのテレビ」を放映。その他、ＩＣＴサロンの受付やライブラリー所管の機材の予約から貸出返却処理を継続して担当。

（２）誰もが快適に利用できる図書館

①乳幼児・児童・青少年サービスの充実

○ブックスタート事業

健康課と連携し、４か月児健診時に赤ちゃんとその保護者に絵本を手渡す事業。受診されなかった場合は、翌月以降の健診時に実施。

実施回数	対象数	実施数	実施率
11 回	263 組	243 組	92.4%

○おはなし会

読み聞かせボランティアグループ及び司書によるおはなし会を定期的に開催。

篠山ストーリーテリングの会との共催による「夜のおはなし会」を年２回、夏季(8/21)と冬季(12/19)いずれも閉館後に約１時間開催。また、市民センター図書コーナーではボランティア有志による親子ふれあいタイムおはなし会を隔週木曜日に開催。

おはなし会	回数	参加人数	昨年度比
中央図書館	88 回	488 人	△377 人

○講演会

企画事業	日程	内容	備考
藤田達生氏講演会「明智光秀の心情にせまる～丹波攻めから本能寺の変へ～」	11 月 29 日	三重大学教育学部・大学院地域イノベーション学研究科教授である藤田達生氏を講師に招き、一般市民を対象に講演会を開催。	視聴覚ホール参加者 50 人

○職場体験学習の受入

区　分	受入期間	受入校	人数
中学生体験学習 ※トライやるウィーク中止の代替実施	12 月 4 日	市内中学校	3 人
インターンシップ	11 月 4 日間 1 月 3 日間	篠山産業高等学校 東雲高等学校	1 人 1 人
教職員初任者研修	8 月 1 日間	味間小学校	1 人
合　計	9 日間		6 人

②高齢者・障がい者サービスの充実

○録音資料の充実

視覚障害者情報総合ネットワークより新たに５５点のデイジー図書をダウンロード、貸出資料として登録。定期利用者のリクエストにも対応。合計５６４点を所蔵。

○対面朗読や音訳サービスの展開

視覚障害者へのサービスとして対面朗読室の活用を推進し、朗読ボランティアの定期活動と「としょかんまつり」朗読体験事業を支援。

③外国人（市内在住）サービスの充実

○市内在住の外国人に向けてのサービスの展開

○篠山国際理解センターとの連携

洋書の整備や「丹波篠山に住もう帰ろう運動」支援コーナーへの資料集約。

篠山国際理解センター主催の日本語教室において、図書館利用に関する時間を設定され絵本を含む洋書リストの提供やホームページ英語版を紹介いただく。購読中の外国語雑誌などのＰＲを行なう。

④学校図書館へのバックアップ

○学校図書館連携協議会での情報共有

９月２９日中学校部会、１０月２０日小学校部会をそれぞれ開催。学校図書室の現状や課題、読書傾向等の情報共有を図る。図書の現物見計らいを実施し学校用図書を選定。図書館にそろえてほしい本の希望を受け、図書館選書会議を経て合計３２冊を購入整備。学校への団体貸出資料として活用。

○学校図書館担当者・学校図書館支援員との情報交換と支援

ブックトーク研修会後に司書と学校関係者の会合を持ち、図書に関する情報交換や意見交換を行った。対応例や図書の貸出、団体貸出の活用等について協議。

○図書館見学の受入
　市内小学３年生の社会科見学など小学校７校幼稚園２園より合計２２９人を受入れた。図書館の利用や統計等に関する説明と質疑応答、絵本の読み聞かせや館内各所の案内、団体貸出の対応等学校ごとの要望に対応。

○市内保育園、幼稚園及び小中学校、児童クラブへの団体貸出
　小学校はクラス単位、その他中学校、各園、児童クラブへ団体貸出を実施。教育課程で必要な資料の貸出や読書活動を支援するもの、また担当教諭の希望に沿った資料等、合計２３，５８４冊を貸出。配達回数は述べ１００回。

○ブックトーク事業
　図書館司書とささやま図書館友の会の共催により、市内小学校８校へ出向き５年生を対象にブックトークを実施。読書活動の支援を行うとともに図書館の利用啓発を行う。

⑥広域利用サービスの推進
○丹波市との連携
　今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館や図書館サービスの提供範囲等の対策について、電話やメールで状況説明や情報交換、業務の確認や相談等を行った。
　丹波地区図書館広域利用統計（他市市民の利用状況）

	個人登録者数	貸出冊数	延べ貸出人数
丹波篠山市 （丹波市民）	362	4,141	892
丹波市 （丹波篠山市民）	223	1,480	327

（３）丹波篠山の古今を守り未来につなぐ図書館
①地域資料等の修理・保存・活用事業
○地域資料の保存・活用講座の開催
○古文書の解読・活用
　毎週水曜日定期的に開催される地域資料整理サポーターの活動を支援し、古文書の目録作成や翻刻作業を継続。より効率的な活動となるよう神戸大学から専門の指導者を招いて年５回の実践活動講座を開催。
　地域新聞の電子化（篠山新聞（S6 年～14 年））

（４）職員の専門性を常に追求する図書館
①専門的職員の育成と配置
○研修等への参加
　各種図書館員の研修会に参加し、司書としてのスキルアップと県内図書館員との情報

交換や交流を行った。研修後、各自研修内容の記録と資料を供覧。

研修会	日程	会場	主催
図書館等職員研修講座 新任研修	7月16日	兵庫県立図書館	兵庫県図書館協会
図書館等職員研修講座 レファレンス研修	11月11日	兵庫県立図書館	兵庫県図書館協会
兵庫県図書館協会 地区別研修会(但馬丹波)	11月20日	丹波市氷上住民センター	兵庫県図書館協会
図書館のための選書研修会(一般書ブックフェア)	11月5日	梅田スカイビル	(株)図書館流通センター
図書館スキルアップ講座「公立図書館と学校との連携による学習支援サービスの可能性」	2月19日	兵庫県立図書館	兵庫県図書館協会

○司書の企画立案・実行能力の向上

「毎月１０日は丹波篠山だけ図書館の日」事業を継続。司書によるおはなし会等イベントを開催。

その他「七夕飾り」も例年どおり７月に開催。１２月の「としょかんまつり」では第３回「丹波篠山市図書館大賞 私の今年のいちばん」を実施。今年１番の本を利用者の投票により決定し、発表。投票総数８５、結果を一覧にして館内に掲示。他に「本の福袋」の提供や雑誌のリサイクルフェア等を実施。

②レファレンス機能の充実

○レファレンスのデータベース化

データによる蓄積を継続。共有できる基礎データとして活用し、迅速で的確なサービスを均一的に提供できるよう努めた。今年度登録件数１２件、登録総数３４３件。

（５）新型コロナウイルス対策（令和２年度　丹波篠山市立図書館）

○休館日数　１８日間（中央図書館）　２６日間（市民センター図書コーナー）

○映像ブース、湯茶コーナーの利用停止（中央図書館）

○閲覧席数の減

○イベントの中止（おはなし会、映画上映会、「毎月 10 日は丹波篠山だけ図書館の日」の折り紙教室、絵手紙教室中止）

○館内消毒（カウンター、利用者用パソコン、閲覧席ほか）を定期的に実施

○図書消毒器の配置

令和2年度　図書館利用状況

1　図書館入館者数

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
○総入館者数	中央図書館	126,073	122,736	84,148
	市民センター図書コーナー	20,207	17,986	11,415
	計	146,280	140,722	95,563
○一日平均入館者数	中央図書館	438	429	311
	市民センター図書コーナー	76	68	45
	計	514	497	356
○金曜（18:00～19:00）の中央図書館入館者数		1,671	965	994
	一日平均入館者数	32	20	23
○開館日数	中央図書館	288	286	270
	市民センター図書コーナー	267	263	249

2　登録者数

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
○登録者総数	中央図書館	27,149	27,689	28,030
	市民センター図書コーナー	2,891	2,905	2,921
	団体	633	648	658
	計	30,673	31,242	31,609
○登録率	登録者数(団体除く)／人口	72.1	74.3	76.1

3　蔵書冊数

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
○館別蔵書冊数	中央図書館	190,197	198,121	204,263
	市民センター図書コーナー	35,101	35,415	36,572
	計	225,298	233,536	240,835

4　貸出利用者数及び貸出冊数

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
○実貸出利用者数（個人利用者数）	中央図書館	5,756	5,060	4,528
	市民センター図書コーナー	580	1,083	407
	計	6,336	6,143	4,935
○図書貸出冊数	中央図書館	268,012	261,113	227,962
	市民センター図書コーナー	19,857	18,007	15,163
	計	287,869	279,120	243,125
○貸出密度	貸出冊数／人口	6.9	6.8	6.0

令和３年度図書館主要事業の概要

1　令和３年度図書館管理運営費

当初予算額　（単位:千円）

事業名	令和３年度	令和２年度	増減額	主な内容
図書館業務費	26,810	27,577	△767	資料購入費他
図書館事業費	205	295	△90	講演会費用他
施設管理費	19,224	19,942	△718	施設管理委託料他
会計年度任用職員	27,974	26,770	1,204	報酬、費用弁償他
合　計	74,213	74,584	△371	

２　主要事業

（１）利用者の知的要求を満たす図書館

事業名	事業概要・内容
蔵書整備 資料費:17,757 千円 【継続】	生涯学習に活用される多様な蔵書の整備と充実を行う。洋書や外国語資料および地域資料の収集を積極的に進め、年間約 8,000 点の資料を整備する。
読書手帳の配布 事業費:45 千円 【継続】	読書のきっかけづくりと読書活動の推進、継続した図書館の利用を促進する。学校を通じて小学校新１年生全員に配布。
配本所の周知と利用促進 【継続】	主に東部地区配本所の利用を活性化するため、出張図書館サービスを実施する。
市民センター図書コーナーの運営 【拡充】	平成２１年度から令和２年度までの１２年間、市民ボランティア「本の郷」ブックサポーターのご協力により運営してきたが、ブックサポーター登録者の減少などにより令和３年度から職員が常駐し図書館サービスを充実する。また、市民センター図書コーナーについても祝日を開館する。

（２）誰もが快適に利用できる図書館

事業名	事業概要・内容
ブックスタート事業 事業費：1,083 千円 【継続】	健康課が実施する４か月児健診時にあわせて対象者に絵本の読み聞かせを行った後、絵本を配布し、図書館の利用啓発もあわせて実施する。ブックスタートアドバイスブックの外国語版を整備し多言語に対応。
おはなし会の開催 【継続】	図書館ボランティア団体の活動の支援と推進。おはなし会の開催。

講演会等の企画開催 事業費：205 千円 【継続】	図書館主催の各種事業を企画、開催する。 職員研修会、企画展、図書館講演会を予定。
障がい者サービス 事業費:40 千円 【継続】	視覚障害者情報総合ネットワーク(サピエ)を活用したデイジー図書の収集整備を継続とＰＲを行う。
学校園との連携 【継続】	小学校でのブックトーク事業、定期的な団体貸出の実施、職場体験学習や図書館見学の受入れなど学校園での読書活動の支援を行なう。 学校図書館支援員との連携を強化し、支援員の活動や学校図書室の充実を支援する。
広域利用サービスの推進 【継続】	丹波地区図書館広域利用サービスを推進し、丹波市と当市の相互利用による資料の有効活用と生涯学習活動の充実に努める。丹波地区図書館連絡協議会による情報の交換と共有、実務者間の意見交換などを行なう。
施設維持補修費 事業費：6,338 千円 【継続】	屋上防水補修を計画的に進める。
小規模工事 事業費：160 千円 【新規】	利用者用トイレ自動水栓取替工事。
車両 事業費：1,455 千円 【新規】	配達等に使用。 公用車（軽貨物）１台。

（３）篠山の古今を守り未来につなぐ図書館

事業名	事業概要・内容
地域資料の保存管理 事業費：26 千円 【継続】	地域資料の修理と製本化をすすめ、適切な保存管理および活用を継続する。
古文書の解読 事業費：9 千円 【継続】	地域資料整理サポーターによる古文書の解読、目録の作成等の活動を支援しこれを継続する。新たなサポーターを育成するとともに、神戸大学から講師を招き指導と助言を受ける機会を設ける。市史編さん事業と連携しながら進める。
地域新聞の電子化 事業費：656 千円 【継続】	篠山新聞など地域新聞の電子化を計画的に進め、貴重な地域資料を未来につなげるとともに、利用提供可能な資料として活用する。

（４）職員の専門性を常に追求する図書館

事業名	事業概要・内容
研修会等への参加 職員研修会 事業費：65 千円 【継続】	兵庫県立図書館研修会（図書館職員研修講座、地区別研修会など）や各種研修会等に参加する。
「毎月 10 日は丹波篠山だけ図書館の日」事業 【継続】	地域に開かれた地域コミュニティ図書館として事業を継続する。司書の読み聞かせや語りなど技術の向上、その他イベントの発案企画、実行力を運営に活かす。

（５）市史編さん事業

事業名	事業概要・内容
市史編さん事業 事業費：9,977 千円 【継続】	令和１０年度の全編刊行を目途に神戸大学と連携し、計画的な編さん作業を進める。資料の収集・整理・解読作業に取り組むとともに、市民とともに編さんする体制づくりを構築する。

（６）第２次丹波篠山市立図書館ビジョンの策定

事業名	事業概要・内容
第２次丹波篠山市立図書館ビジョンの策定 事業費：265 千円 【新規】	平成２４年度に策定した「図書館ビジョン」の検証と見直しを行い、令和４年度からの１０年を見据えた第２次丹波篠山市立図書館ビジョンを策定する。

図書館ビジョンの取り組み

利用者の知的欲求を満たす図書館

（1）利用者サービスの充実

【継続的な取り組み】

①市民ニーズに対応した柔軟なサービスの提供

②図書館利用の積極的なPR

③図書館と地域を結ぶサービスの充実と物流の円滑化

【短期実践項目】

④図書館業務マニュアルの見直し 終了

⑤蔵書構成の検証と資料収集方針の見直し 終了

⑥サインや書架配置の工夫と図書館司書おすすめ書架コーナーの設置 終了

⑦市民センター図書コーナー・ボランティアの育成

【中期実践項目】

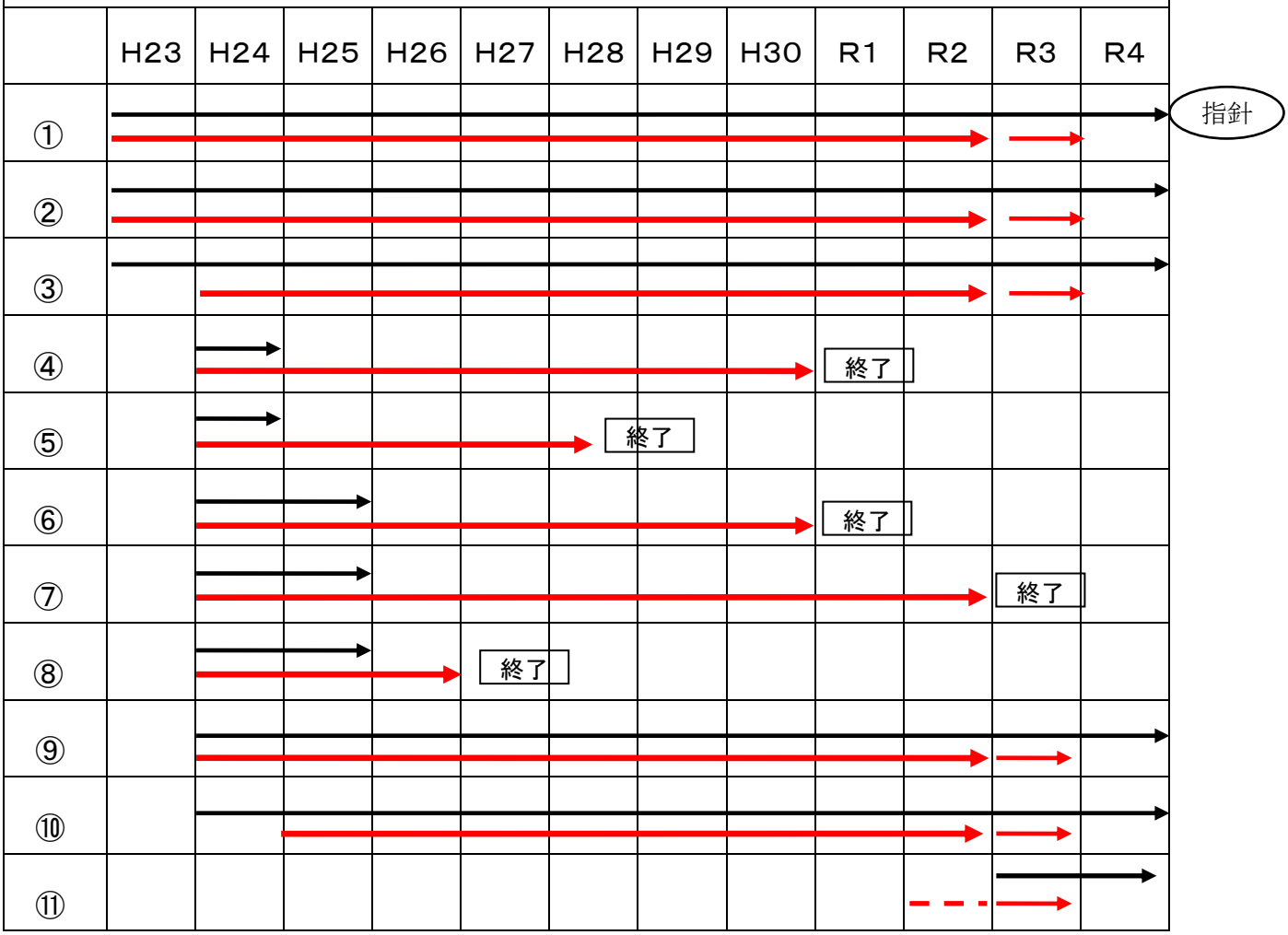
⑧ハイブリッドサービス導入の可能性の研究 終了

【長期実践項目】

⑨蔵書計画に基づく計画的な資料収集

⑩市民ニーズに応える蔵書構成

⑪市民センター図書コーナーの運営



（2）情報提供サービスの充実

【継続的な取り組み】

①「生業支援」「生活支援」「行政支援」サービスの充実

【短期実践項目】

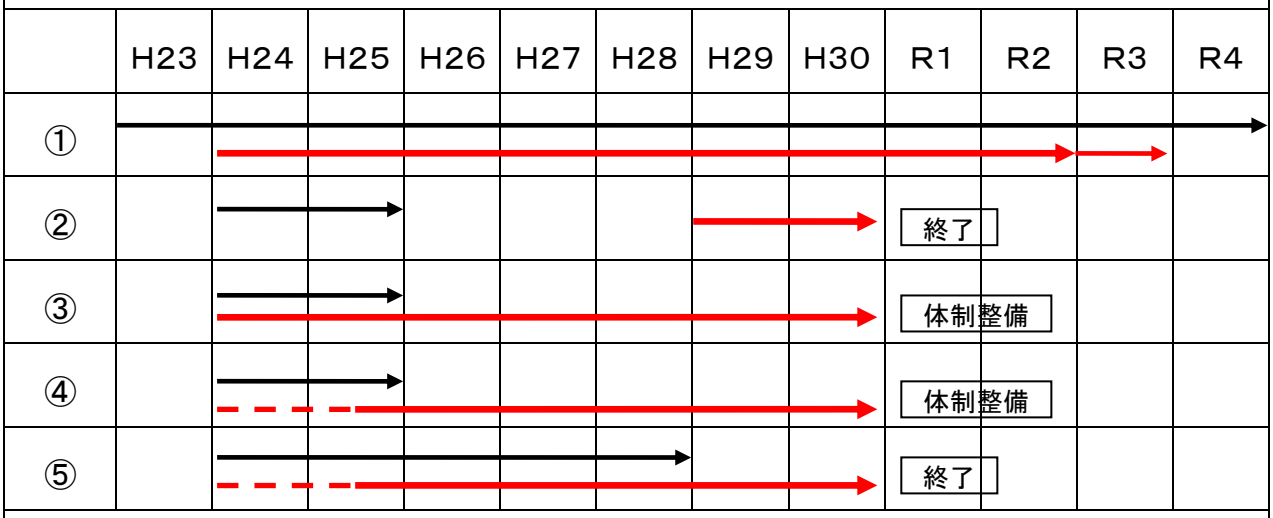
②就業支援コーナーの設置　終了

③生涯学習機関等との連携強化　体制整備

④「学校教育支援」の充実　体制整備

【中期実践項目】

⑤「ビジネス（地場産業）支援」の充実　終了



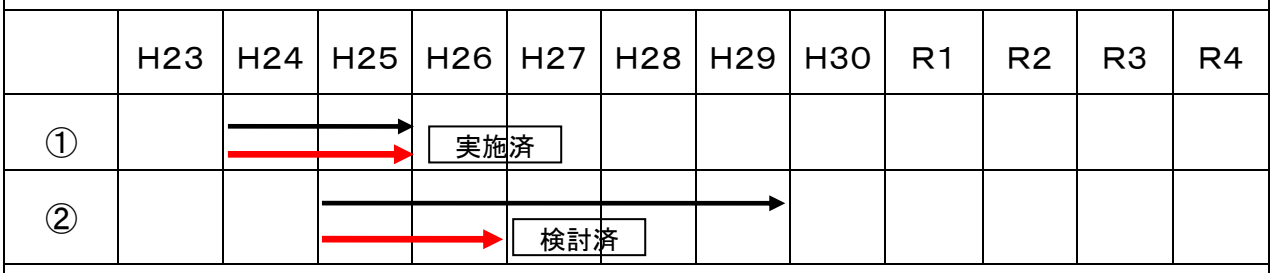
（3）電子書籍サービスの検討

【短期実践項目】

①地域資料の電子書籍化とパソコン上での閲覧　実施済

【中期実践項目】

②電子書籍サービスの導入検討　将来的に導入することで検討済



（4）インターネット、ICTを利用したサービスの展開

【継続的な取り組み】

①図書館サービスの地域的較差の縮小

②視聴覚ライブラリーとの連携

誰もが快適に利用できる図書館

（1）乳幼児・児童・青少年サービスの充実

【継続的な取り組み】

①ブックスタート事業等の展開
②ボランティア活動の支援
③学校等における読書活動の支援
④職場体験学習の受け入れと支援

【中期実践項目】

⑤子どもと本をつなぐ環境の整備・充実

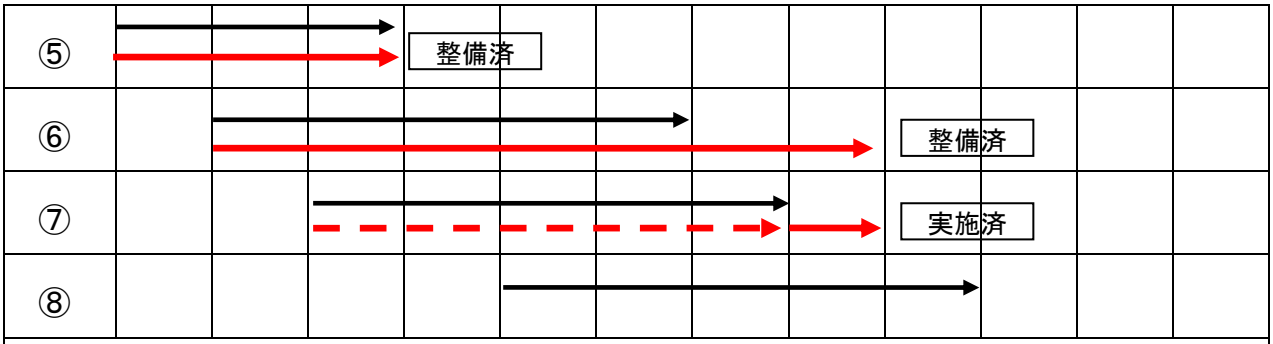
（2）高齢者・障がい者サービスの充実

【短期実践項目】

①関係機関・ボランティア団体等との連携　連携体制調整済
②機器の導入とデジタル化　導入、実施済
③視覚障害者情報総合ネットワークへの加入　加入済
④朗読ボランティアスキルアップ講座の開催
⑤館内表示や車いすなどの整備　整備済

【中期実践項目】

⑥録音資料の充実　整備済
⑦対面朗読や音訳サービスの展開　実施済
⑧病院等への患者支援の資料設置



（3） 外国人（市内在住）サービスの充実

【継続的な取り組み】

①市内在住の外国人に向けてのサービスの展開

【短期実践項目】

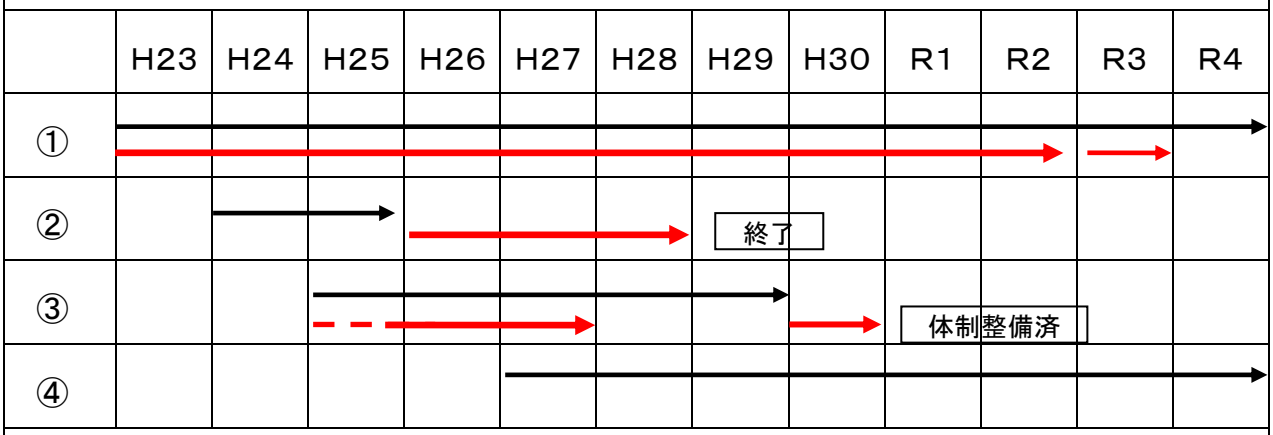
②姉妹都市関連資料の収集・展示 終了

【中期実践項目】

③国際理解センターとの連携 体制整備

【長期実践項目】

④語学力ある職員の配置



（4） 学校図書館へのバックアップ

【継続的な取り組み】

①学校図書館連携協議会での情報共有

②学校図書館担当者・学校図書館支援員との情報交換と支援

③教科学習としての図書館見学の受入

④総合的な学習の支援（団体貸出）

【短期実践項目】

⑤兵庫県立図書館との連携

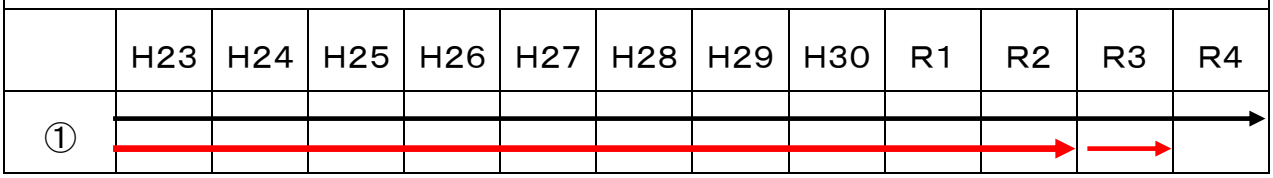
⑥図書館利用ガイダンスの実施 体制整備

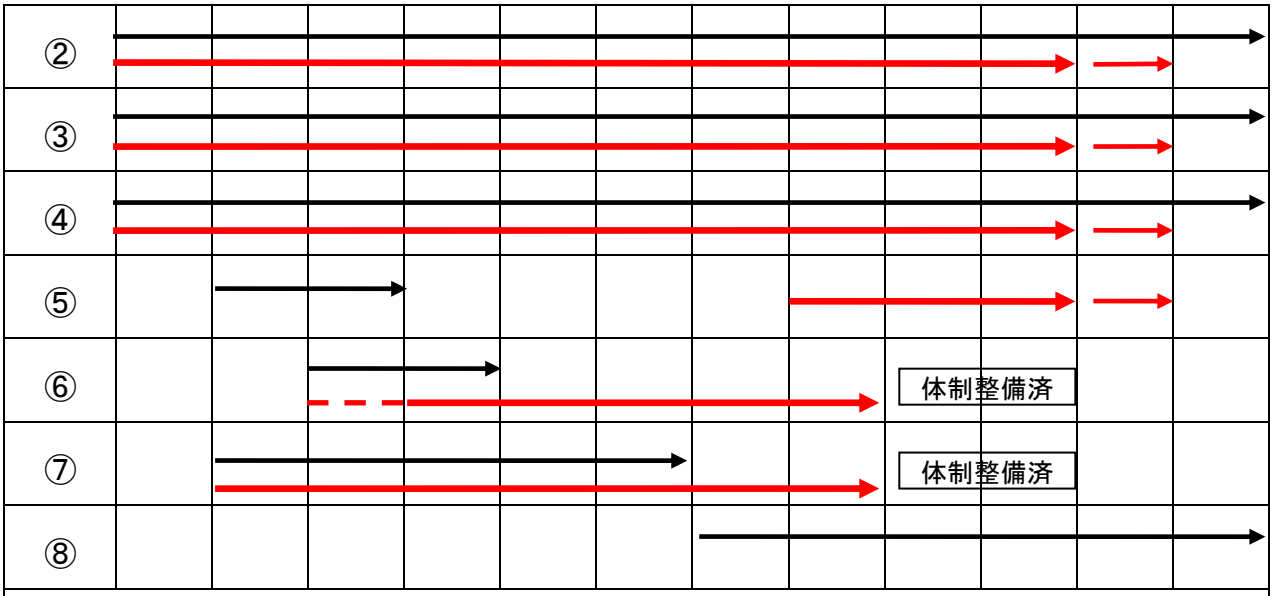
【中期実践項目】

⑦学校図書館支援担当者の育成 体制整備

【長期実践項目】

⑧学校図書館支援センターの設置





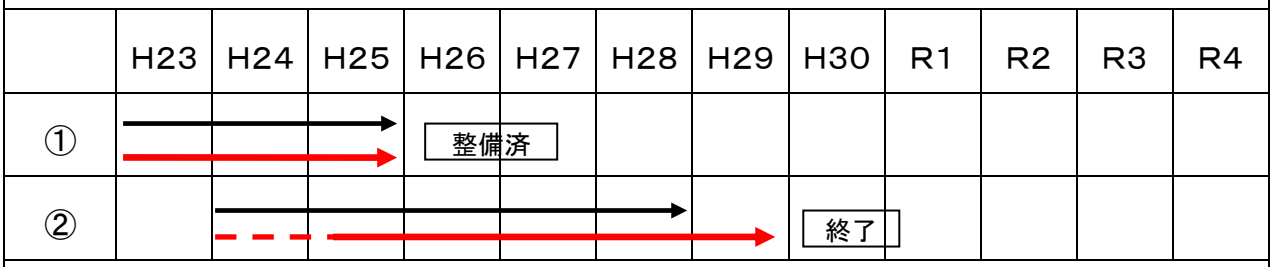
（5）AV資料等デジタル化事業

【短期実践項目】

①映像再生機器の整備・充実　整備済

【中期実践項目】

②AV資料等のデジタル化とNDCによる整理　終了



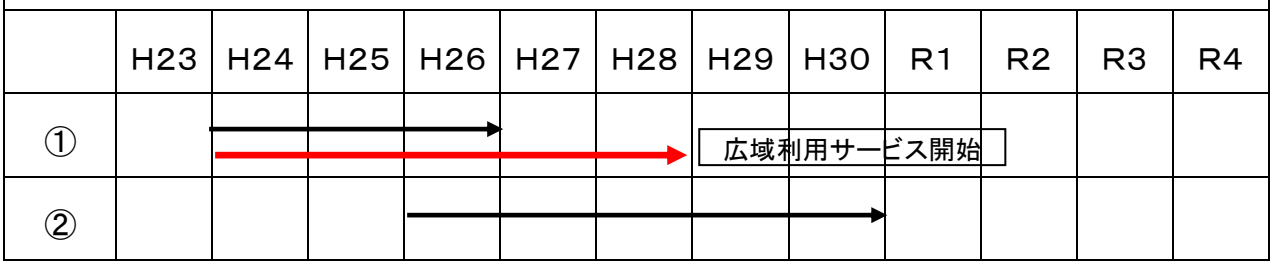
（6）広域利用サービスの推進

【短期実践項目】

①丹波市との連携　広域利用サービス開始

【中期実践項目】

②近隣市との連携



篠山の古今を守り未来につなぐ図書館

（1） 地域資料等の修理・保存・活用事業

【短期実践項目】

①地域資料等の保存・活用講座の開催

②行政資料の収集　体制整備済

③研究資料等の収集

④地域資料の電子化　機器導入済

【中期実践項目】

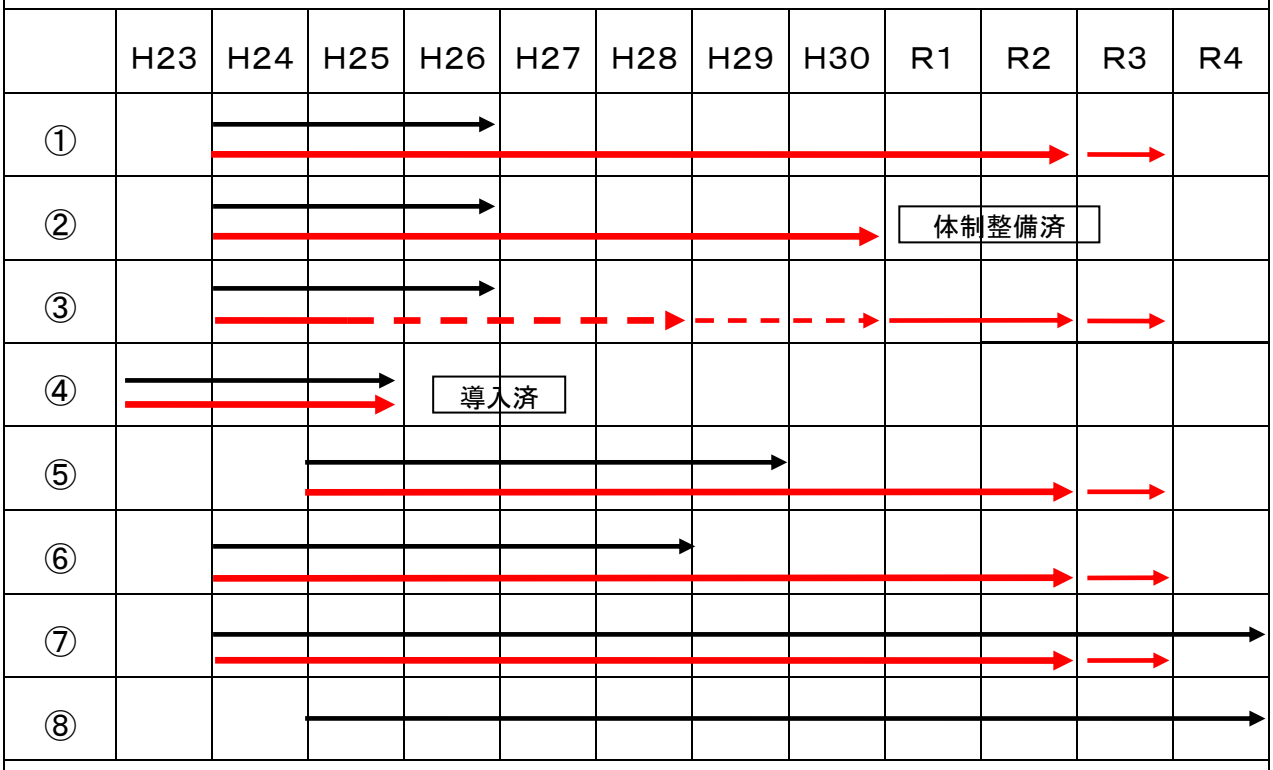
⑤古文書の解読・活用

⑥郷土資料の収集と適切な保存・管理

【長期実践項目】

⑦郷土資料の系統だった整備・充実

⑧シンクタンクとしての図書館機能の充実

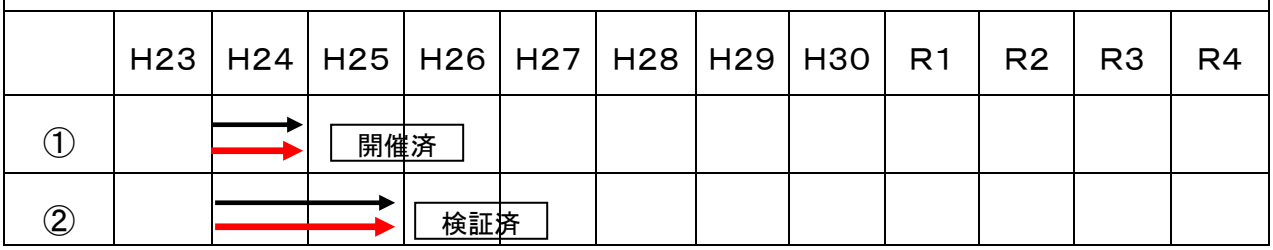


（2） 開館10周年記念事業

【短期実践項目】

①開館10周年記念事業の開催　開催済

②10年の歩みを検証　検証済



職員の専門性を常に追求する図書館

（1） 専門的職員の育成と配置

【継続的な取り組み】

①職員・司書の研修等への参加

②効率的・効果的な業務運営

【短期実践項目】

③司書の企画立案・実行能力の向上　各種行事での司書企画の採用、実行

【長期実践項目】

④バランスのとれた職員構成・配置

⑤正規職員司書の配置

（2） レファレンス機能の充実

【継続的な取り組み】

①情報の収集・整理・保存・活用

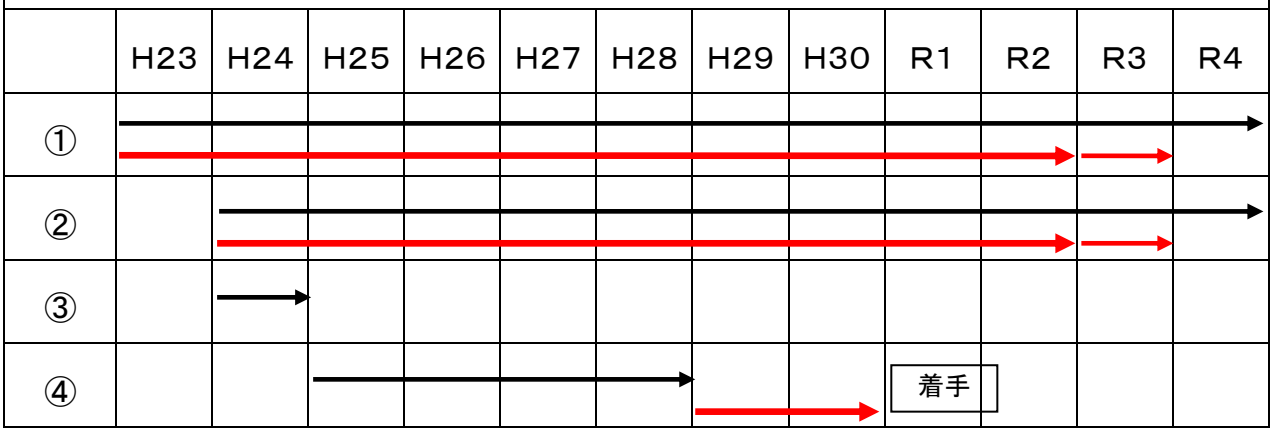
②司書のスキルアップ

【短期実践項目】

③既存データベースの活用

【中期実践項目】

④レファレンスのデータベース化　着手



第２次丹波篠山市立図書館ビジョンの策定について

１．策定の目的

平成２４年１０月に策定した「篠山市立図書館ビジョン」（以下「現ビジョン」という。）が、本年度に１０年が経過することから、現ビジョンに基づき、各事業の検証と見直しを行うとともに、時代の変化に沿って未来を見据えた指針、年次計画的な事業遂行を着実に行うため、次期「図書館ビジョン」として「第２次丹波篠山市立図書館ビジョン」を策定し、市民の参画と協働のもと、新しい図書館づくりを進めていきます。

２．策定方法

丹波篠山市図書館協議会に諮問し、計画を策定。丹波篠山市教育員会に報告。

３．図書館ビジョンの期間

令和４年度(2022)～令和１３年度(2031)

４．策定スケジュール

【別紙１】のとおり

５．第２次丹波篠山市立図書館ビジョンの骨子（案）

『第２次丹波篠山市立図書館ビジョン』骨子（案）

１．計画の概要
- (1)「図書館ビジョン」策定の目的
- (2)「図書館ビジョン」の体系と期間
- (3)「図書館ビジョン」策定の方法

２．図書館を取り巻く状況
- (1)国の動向
- (2)丹波篠山市の動向
- (3)丹波篠山市立図書館の現状

３．篠山市立図書館ビジョンの成果と課題
- (1)篠山市立図書館ビジョンの成果、課題

４．『第２次丹波篠山市立図書館ビジョン』の基本的な考え方　【参考１】
- (1)図書館運営の基本理念(市立図書館のあるべき姿)
- (2)運営方針（丹波篠山市の図書館の将来像）

５．施策の展開（将来像を実現するための施策）
- (1)
- (2)
- ：

６．図書館ビジョンの推進体制と方策（進行管理）
- (1)推進体制
- (2)推進方策（アクションプラン）

参　考

『篠山市立図書館ビジョン』

（１）策定年月　　平成２４年１０月

（２）策定目的

時代の変化に的確に、そして柔軟に対応できる図書館サービスのあり様・あり方について検討を進め、未来を見据えた明確な指針、そして、年次計画的な事業遂行を着実に行うための「篠山市図書館ビジョン」を策定し、市民の参画と協働のもと、新しい図書館づくりを進めていきます。

（３）構成と概要

１．図書館ビジョン策定の目的
２．図書館ビジョンの構成と期間
（計画期間）　平成 24 年度から概ね 10 年間
３．図書館ビジョン策定の方法
４．図書館の現状と課題
(1)篠山市の図書館の現状と課題
(2)図書館界の動向
５．篠山市の図書館の将来像
(1)図書館運営の基本理念
『人と本・知識・情報を結びつける知的空間の創造』
(2)篠山市の目指す図書館像(将来像)
① 利用者の知的欲求を満たす図書館
② 誰もが快適に利用できる図書館
③ 篠山の古今を守り未来につなぐ図書館
④ 職員の専門性を常に追求する図書館
６．将来像を実現するための施策
(1)利用者の知的欲求を満たす図書館
(2)誰もが快適に利用できる図書館
(3)篠山の古今を守り未来につなぐ図書館
(4)職員の専門性を常に追求する図書館
短期実践項目・中期実践項目(概ね 5 年)・長期実践項目(概ね 10 年)
７．図書館ビジョンの推進体制と方策
(1)参画と協働による推進体制
(2)効果的な推進方法
(3)アクションプラン

論 点 整 理

『第２次丹波篠山市立図書館ビジョン』の骨子（案）

１．計画の概要

(1)「図書館ビジョン」策定の目的

→　*新しい図書館ビジョン（時代の移り変わり（人口減少・超スマート社会など）、ウイズコロナ・新しい生活様式、開館２０年、図書館ビジョン策定１０年など）*

(2)「図書館ビジョン」の体系と期間

→　*市総合計画・丹波篠山きらめき教育プラン（市教育振興基本計画）との整合*
→　*計画期間：１０年間（令和４年度～令和１３年度*

(3)「図書館ビジョン」策定の方法

→　*現状の図書館サービスをベースに、利用者アンケートなどにより利用者、ボランティア団体、市民の意見を踏まえ、骨子、ビジョン案を作成。*
→　*市図書館協議会への諮問、市教育委員会への報告、パブリックコメントの実施*

２．図書館を取り巻く状況

(1)国の動向

→　*図書館の設置及び運営上の望ましい基準（H24.12.19 文部科学省告示第 172 号）*
→　*子供の読書活動の推進に関する基本的な計画（H30.4）*
　〔第２次丹波篠山市子ども読書活動推進計画（R 元.5 策定）〕
→　*視覚障害者との読書環境の整備の推進に関する法律*
　（読書バリアフリー法）（R 元.6）

(2)丹波篠山市の動向

→　*第３次丹波篠山市総合計画（2021～2030）*
→　*第３期丹波篠山きらめき教育プラン（市教育振興基本計画）（R 元.11.21）*

(3)丹波篠山市立図書館の現状

→　*施設関係（中央図書館、市民センター図書コーナーが開館（H15.4）、中央図書館視聴覚ライブラリーが中央図書館に移転（H15.10）など）*
→　*利用者関係（利用者・登録者の推移など）*
→　*図書館サービス関係（図書館サービスの概要、推移）*
→　*蔵書関係（蔵書の推移）*
→　*市民センター図書コーナー運営の見直し（R3.4～）*
　（「本の郷ブックサポーター」の協力による運営　→　中央図書館主体の運営）

３．篠山市立図書館ビジョンの成果と課題

(1)篠山市立図書館ビジョンの成果、課題

→　図書館ビジョンの取り組みの検証（４将来像・13 項目）
①利用者の知的欲求を満たす図書館　　②誰もが快適に利用できる図書館
③篠山の古今を守り未来につなぐ図書館　④職員の専門性を常に追求する図書館

４．『第２次丹波篠山市立図書館ビジョン』の基本的な考え方

(1)図書館運営の基本理念（市立図書館のあるべき姿）

→　篠山市図書館ビジョン（H24. 10）
「人と本・知識・情報を結びつける知的空間の創造」

(2)運営方針（丹波篠山市の図書館の将来像）

→　篠山市図書館ビジョン（H24. 10）
目指す図書館像（将来像）
①利用者の知的欲求を満たす図書館
②誰もが快適に利用できる図書館
③篠山の古今を守り未来につなぐ図書館
④職員の専門性を常に追求する図書館

５．施策の展開（将来像を実現するための施策）

→　将来像を実現するための個別施策の検討
（１）
（２）
（３）
（４）

６．図書館ビジョンの推進体制と方策（進行管理）

(1)推進体制

→　推進体制の検討

(2)推進方策（アクションプラン）

→　推進方策（アクションプラン）の検討

第２次丹波篠山市立図書館ビジョン　策定スケジュール（案）

【別紙１】

項　　目	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
図書館協議会委員の選任	◎											
図書館協議会		① 委員委嘱、前期進捗状況、次期項目検討		② アンケート要領、前期検証、次期骨子検討		③ アンケート結果、課題整理、次期骨子確認、次期原案検討		④ 原案まとめ、パブコメ要領			⑤ 「第2次図書館ビジョン」策定	⑥ 予備
定例教育委員会		委員委嘱 改訂方針の報告						案報告 （中間報告）			新ビジョン報告	
改訂方針の検討	←→	←→										
現行ビジョンの進捗状況検証 新ビジョンに向けた課題整理		←→	←→	←→	←→							
アンケート調査 （市民・利用者・ボランティア他） 〈アンケート作成・配布・回収・集計・分析〉			←→	←→	←→							
新「図書館ビジョン」素案の検討 （骨子、将来像、将来像を実現するための施策、推進体制と方策）		←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→ （案の決定）				
パブリックコメント （ビジョン案の公表、意見募集 回答・ビジョンへの反映）									←→	←→	←→	
新「図書館ビジョン」の策定 （関係機関（県立図書館ほか） への周知・報告）											←→	←→
市議会への報告			状況報告 （総文委）						案報告 （全協）			
			補正審査(6月)又は 行政評価審査(8月)									

【参考１】

丹波篠山市の図書館サービスの将来像・考え方　（比較）

第２次　丹波篠山市立図書館ビジョン	篠山市立図書館ビジョン（H24.10）	篠山市図書館建設基本計画（H12.3）	丹波篠山きらめき教育プラン （丹波篠山市教育振興基本計画） （R 元.11））	丹波篠山の教育 （令和３年度）	図書館の設置及び運営上の 望ましい基準（文部科学省） （H24.12）
	図書館の将来像・実現するための施策	篠山市の図書館サービス網計画	施策の基本方向4	施策の基本方向4	市町村立図書館
◆図書館ビジョンの基本的な考え方 (1)図書館運営の基本理念 (2)目指す図書館像(将来像) ◆施策の展開	◆図書館の将来像 (1)図書館運営の基本理念 『人と本・知識・情報を結びつける知的空間の創造』 (2)篠山市の目指す図書館像(将来像) ①利用者の知的欲求を満たす図書館 ②誰もが快適に利用できる図書館 ③篠山の古今を守り未来につなぐ図書館 ④職員の専門性を常に追求する図書館 ◆将来像を実現するための施策 (1)利用者の知的欲求を満たす図書館 ①利用者サービスの充実 ②情報提供サービスの充実 ③電子書籍サービスの検討 ④インターネット、ICT を利用したサービスの展開 (2)誰もが快適に利用できる図書館 ①乳幼児・児童・青少年サービスの充実 ②高齢者・障がい者サービスの充実 ③外国人(市内在住)サービスの充実 ④学校図書館へのバックアップ ⑤AV 資料等デジタル化事業 ⑥広域利用サービスの推進 (3)篠山の古今を守り未来につなぐ図書館 ①地域資料等の修理・保存・活用事業 ②開館10周年記念事業 (4)職員の専門性を常に追求する図書館 ①専門的職員の育成と配置 ②レファレンス機能の充実	◆これからの図書館サービス (1) 暮らしのとなりにある図書館 (2) お年寄りを大切にする (3) 図書館利用に障害のある人々へのサービス (4) 子どもの読書環境を充実する ① 子どもと読書 ② 十代の子どもたちへのサービス ③ 学校図書館を整備する (5) 豊かな資料と情報のサービス (6) 視聴覚資料のサービス (7) コンピュータとマルチメディアによるサービス (8) 篠山市の頭脳となる ① 情報のサービス ② 行政資料のサービス ③ 地域資料の収集と利用 (9) 市民の学習、創造活動への援助 ① 生涯学習の核となる施設 ② 学習・創造活動への援助 ③ 市民の交流や憩いの場となる ◆図書館サービスの到達指標の設定 (1)どのくらいの市民が利用するか (2)貸出を支える開架図書その他の資料 (3)市民の受ける利益 ◆図書館サービス網計画 (1)図書館サービス網計画の考え方 (2)篠山市の条件 (3)図書館サービス網試案 (4)公民館図書室などのサービスポイント (5)自動車図書館のサービス	◆施策の基本方向4 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進 1 主体的に生きるための学びと場の充実　（抄） 中央図書館では「図書館ビジョン」に基づき、生涯学習に活用される多様な資料の収集と提供を行い、魅力ある事業を展開するとともに、市内配本所ネットワークを有機的に機能させ、利便性の向上に取り組む。地域資料の適切な保存管理を計画的にすすめ、利活用に向けた整理を行う。 【想定する取組】（抄） (1) 図書館ビジョン」による図書館運営 (2) 図書館資料の収集及び提供 (3) 市民センター図書コーナーと配本所の運営の充実 (4) 中央図書館と学校園との連携 (5) 地域資料の整理・保存・電子書籍化 【参考指標】 ・中央図書館の蔵書冊数、貸出冊数、地域資料の電子化数	◆施策の基本方向4 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進 1 主体的に生きるための学びと場の充実　（抄） (1) 図書館ビジョン」による図書館運営 ①「図書館ビジョン」に基づき、あらゆる世代に応じた図書館事業をボランティア等との協働によって推進します。 ②年間の貸出密度（貸出冊数/人口）が7．0以上になること。 (2) 図書館資料の収集及び提供 ①蔵書計画に基づき、生涯学習に活用される多様な蔵書の整備と充実を行います。 ②社会情勢の変化に対応しながら、市民の要求と知的好奇心を満たす資料を広く収集し、系統だった整備のもと、資料の選択数を増やすこと。 (3) 市民センター図書コーナーと配本所の運営の充実 ①市民センター図書コーナーと配本所の継続的な運営を行います。また、地域に出向く出張図書館サービスも実施します。 ②配本所の貸出冊数を400冊以上とすること。 (4) 中央図書館と学校園との連携 ①図書館と学校園との連携を強化し、学校での読書活動や学校図書館の支援を行います。 ②学校園への年間貸出冊数を 23,000 冊以上にすること。 (5) 地域資料の整理・保存・電子書籍化 ①神戸大学と連携し「地域資料整理サポーター」による地域資料の整理・保存を推進します。あわせて地域新聞の電子化を計画的に行います。 ②地域新聞の電子化数を年間 3,000 枚以上作成すること。	◆第一　総則 三　運営の基本 市町村立図書館は、知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ、資料や情報の提供等の利用者及び住民に対する直接的なサービスの実施や、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の情報拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応え、地域の実情に即した運営に努めるものとする。 ◆第二　公立図書館 一　市町村立図書館 1 管理運営 (一)基本的運営方針及び事業計画 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業等に関する基本的な運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとする。 3 図書館サービス (一)貸出サービス等 (二)情報サービス (三)地域の課題に対応したサービス (四)利用者の対応したサービス ア．児童・青少年に対するサービス イ．高齢者に対するサービス ウ．障害者に対するサービス エ．乳幼児とその保護者に対するサービス オ．外国人等に対するサービス カ．図書館への来館が困難な者に対するサービス (五)多様な学習機会の提供 (六)ボランティア活動等の促進

丹波篠山市立図書館についてのアンケート（案）

現在、丹波篠山市立中央図書館では、時代の変化を的確に、そして柔軟に対応できる図書館づくりを目指して、「第２次丹波篠山市立図書館ビジョン」の策定を進めています。
そこで、策定の基礎資料とするとともに、今後の図書館運営に生かしていくため、アンケートにご協力をお願いします。

※各問の選択肢に○をつけてください。（自由記述欄には、ご意見等をご記入ください。）

問１　あなたの年齢をお答えください。（○は１つだけ）

１．19 歳以下　２．20 歳～29 歳　３．30 歳～39 歳　４．40 歳～49 歳
５．50 歳～59 歳　６．60 歳～69 歳　７．70 歳～79 歳　８．80 歳以上

問２　あなたはどちらにお住まいですか。（○は１つだけ）

１．篠山地区　２．城東地区　３．多紀地区　４．西紀地区　５．丹南地区
６．今田地区　７．丹波市　８．三田市　９．その他（　　）

問３　あなたは、本や雑誌を１か月平均何冊ぐらいお読みになりますか。（○は１つだけ）

１．１～2 冊　２．３～４冊　３．５～６冊　４．７～10 冊　５．11 冊以上
６．全く読まない

問４　あなたは、図書館（中央図書館・市民センター図書コーナー・配本所（６か所））をどれくらい利用されますか。（○は１つだけ）

１．ほぼ毎日　２．週に３～４回　３．週に１～２回　４．月に１～２回
５．年に数回程度
６．ほとんど利用しない・利用したことがない

【問６】にお進みください。

【問４で「6.」を選択された方におたずねします】

問５　あなたが図書館を利用しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．本や雑誌は自分で購入する　２．自宅から図書館が遠い
３．図書館への移動(交通)手段がない　４．図書館のある場所（こと）を知らない
５．開館時間・開館日が自分の都合に合わない
６．貸出や予約の手続きが面倒　７．利用したい本や雑誌が少ない
８．市外の図書館を利用している（具体的な市町名：　　）
９．読みたい本がすぐに借りられない　10．スタッフの対応がよくない
11．施設・設備がよくない　12．館内がうるさい
13．利用しづらい雰囲気がある　14．利用する必要がない
15．その他（　　）

【問５】に回答いただいた方は、【問１０】にお進みください。

【問４で「１．～５．」のいずれかを選択された方におたずねします】

問６　あなたが利用される図書館はどこですか。（○は一つだけ）

１．中央図書館（西吹）　　２．市民センター図書コーナー（黒岡）
３．配本所（城東公民館・多紀支所・ﾊｰﾄﾋﾟｱｾﾝﾀｰ・西紀支所・西紀分室・今田支所）
３．両方の図書館を利用するが中央図書館のほうが多い
４．両方の図書館を利用するが市民センター図書コーナーのほうが多い

問７　あなたが図書館を利用するときの目的は何ですか。（○はいくつでも）

１．本や雑誌を借りる　　２．本を館内で読む　　３．雑誌や新聞を館内で読む
４．映像ブースでDVDを見る　　５．館内でパソコンを利用する
６．本や雑誌の予約をする　　７．館内の蔵書検索機（OPAC）を使う
８．館内の資料で調べものをする　　９．館内で勉強する
10. 本や調べものを図書館の職員に相談する
11. お話会や講演会などの催しに参加する
12. 録音図書や点字図書などの障がい者資料を利用する
13. ICTふれあいサロンを利用する
14. 自宅から図書館のホームページを利用する
15. その他（　　）

問８　図書館の施設や資料についての満足度をおたずねします。（○は項目ごとに１つだけ）

ア	図書の量	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
イ	図書の質	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ウ	雑誌の量	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
エ	雑誌の質	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
オ	新聞の種類	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
カ	ＣＤ・ＤＶＤの量	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
キ	ＣＤ・ＤＶＤの質	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ク	録音図書や点字図書の量	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ケ	録音図書や点字図書の質	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
コ	資料の配置	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
サ	映像ブースの数	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
シ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ検索のﾊﾟｿｺﾝの数	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ス	座席の数	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
セ	その他（　　）	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない

問９−１　図書館サービスについての満足度をおたずねします。（○は項目ごとに１つだけ）

ア　開館日	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
イ　開館時間	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ウ　貸出冊数	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
エ　貸出期間	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
オ　予約・リクエスト	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
カ　本の場所の表示	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
キ　本や調べものの相談	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ク　コピー機の利用	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ケ　カバンの貸し出し	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
コ　障がい者に対するサービス	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
サ　お話し会や講演会などの催し	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
シ　市民センター図書コーナーの利用	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ス　配本所の利用	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
セ　職員の対応	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない
ソ　その他 （　　）	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない

問９−２　現在の図書館サービスについて不満に思われていることがあればお書きください。

【ここからは、すべての方におたずねします】

問１０　今後、図書館で優先的に実施したらよいと思われる図書館サービスは何ですか。

（○はいくつでも）

１．本や雑誌等の充実
２．電子書籍デジタル資料、ＣＤ等のＡＶ資料の充実
３．乳幼児や小学生向けサービスの充実
４．障がい者や高齢者を対象にした録音図書や朗読サービスの充実
５．在架予約による資料の貸し出し
６．図書館司書によるレファレンスサービス（資料の紹介・相談）の充実
７．講座やイベント等の充実
８．近隣の市町立の図書館の利用（利用したい市町名　　）
９．図書館に関する情報発信（ＨＰ、広報など）の充実
10．その他（具体的に；　　）

問１１　丹波篠山市の図書館について、ご意見・ご要望を自由に書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。これからの図書館運営や図書館サービスの向上に努めてまいります。今後とも、丹波篠山市立図書館（中央図書館・市民センター図書コーナー・配本所）のご利用、ご支援をよろしくお願いいたします。

なお、記入後のこの用紙は　月　日（　）までに館内のアンケート回収箱へお入れください。

◆問い合わせ先◆　丹波篠山市立中央図書館（担当　小畠、徳田）
〒669-2206 丹波篠山市西吹 88-1　TEL:079-590-1301　FAX:079-594-5450